

人と人との
つながりに感謝して、110年。

1915年の創立以来最も大切にしているのは
「お客さまへの感謝の心」と「お客さまの厚い信頼」という、
人と人との双方向のつながりです。
「YANASE」のステッカーは、その想いを象徴したもの。
これからのデジタル新時代でも、
変わらず“夢”と“感動”あふれる「クルマのある人生」を
創りつづけてまいります。



クルマはつくらない。クルマのある人生をつくっている。 **YANASE**
株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

注目の新型車続々

今年の国内新車市場 満を持して日産「エルグランド」、マツダ「CX-5」

今年の国内市場は新型車の投入が活発な一年になる。昨秋の「ジャパンモビリティショウ」で参考出品された多くの車両が発表される。また、国産勢も電気自動車(EV)販売に本腰を入れており、売れ行きが注目される。また、「エルグランド」とマツダ「CX-5」だ。それ



BYD 「ラッコ」は価格に注目

期待の日産「エルグランド」

夏にはBYD軽EV

今年の国内市場は新型車の中でも特に関心が高いのが日産自動車「エルグランド」とマツダ「CX-5」だ。それ

ぞれ現行型の期間が長い

が「全面改良を待つて現

行車に乗り継いでくれる顧客が多い」(日産系販売店の代表者)とい

う期待のモデルだ。

トヨタ「ランドクルーザーFJ」「ハイラックス」、ホンダ「スーパークリー

ド」などの差別化に向けて初搭載する。競合するトヨタ自動車「アルファード」との競争を勝ち抜いたBYDが軽EV「ラッコ」を発売する。

2026年にはBYDが軽

EV「ラッコ」を発売す

る。性能よし注目される

のが価格だ。母國の過当

競争を勝ち抜いたBYDだけにどのような値付

けやマーケティング策を打ち出すか、消費者だけでなく、迎え撃つ国産勢の関心も高まる。



「お先にどうぞ」から始まる「思いやりティ ドライブ」 横断歩道をわたる人がいたら、「一時停止」をお願いします。

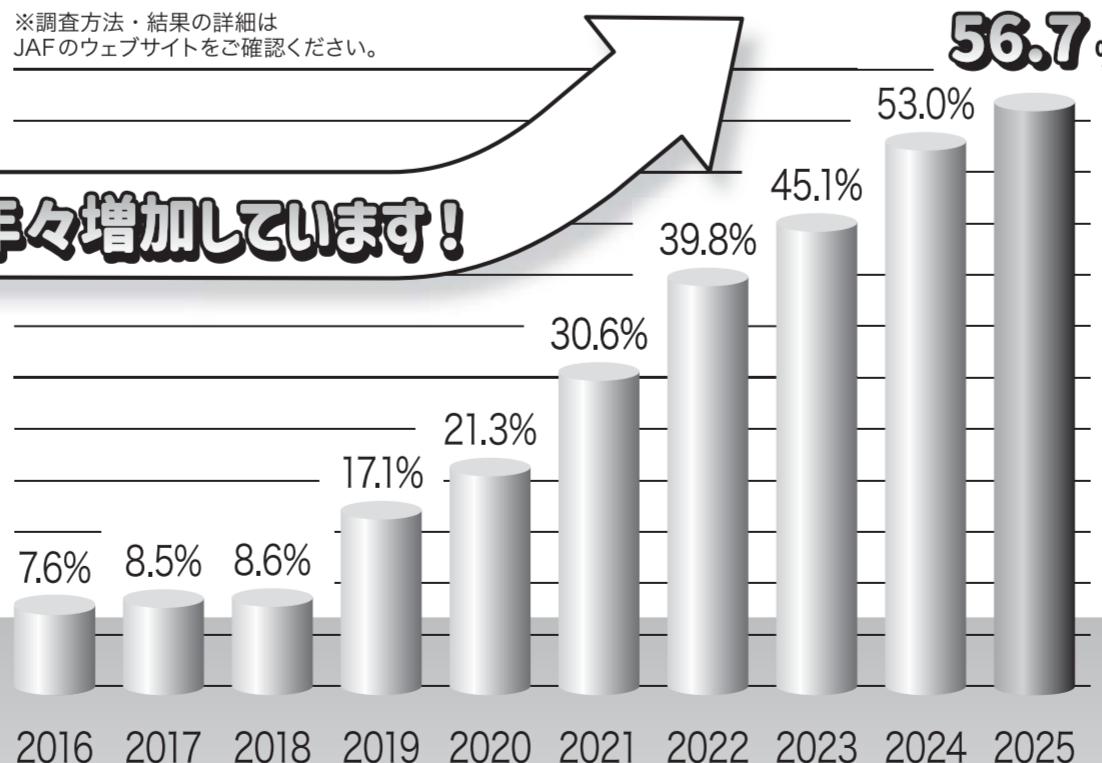
今年で11年目を迎えたJAFの「思いやりティ ドライブ」プロジェクト。データによれば歩行者が待つ信号機のない横断歩道で一時停止するクルマは年々増えてきましたが、未だ4割以上のクルマが停止していません。「安全で、笑顔あふれる交通社会」を実現するために、みなさんのご賛同とご協力を引き続きお願いします。



歩行者が待つ信号機のない横断歩道で一時停止したクルマの割合

※調査方法・結果の詳細はJAFのウェブサイトをご確認ください。

年々増加しています!



一人ひとりの心の中に

Omoiyality Drive

思いやりティ ドライブ



詳細は特設ウェブサイトをご覧ください

JAF 思いやりティ

検索